

平成27年度 第1回 印西市立図書館協議会会議録

開催日時 平成27年7月2日(木) 午前10時00分から12時00分

開催場所 印西市文化ホール 2階 大会議室

出席者 協議会委員：伊藤委員、西田委員、清水委員、中野委員、谷口委員、  
関根委員、勝丸委員、神鳥委員

事務局：湯浅生涯学習課長、小那木大森図書館長、  
伊藤小倉台図書館長、大河小林図書館長、  
牧野そうふけ図書館長、石井印旛図書館長、  
高橋本埜図書館長、阿久津主査、寺嶋主査、  
須藤主査補、仲山主事補

欠席委員 松橋委員、篠田委員

傍聴者 1名

議題 1. 平成26年度事業報告について  
2. 平成27年度事業計画について  
3. 図書館評価指標について

概要 (以下要点について記す)

【会議公開に伴う傍聴席の設置と会議録作成のための録音の了解】

《委員長あいさつ》

《課長あいさつ》

《委員自己紹介》

《職員自己紹介》

<資料の確認>

【会議録の署名人について中野委員に一任することの承認】

議事

1. 平成26年度事業報告について

委員長 議題の(1)平成26年度事業報告についてを議題といたします。

事務局より説明をお願いいたします。

事務局 平成26年度の事業報告について

【事務局、1頁から12頁に基づき説明】

委員長 事務局からご説明いただきましたが、この内容について質疑などございましたらお願いいたします。

委員 12頁の資料の紛失について、新聞や書籍の切り取りなどの状況はどうなっていますか。

事務局 大森図書館、小倉台図書館では現在新聞等の切り取り、持ち出しなどはありません。

ただし、今回はじめて実際に切ろうとしている現場を押さえました。

以前委員から閲覧場所の移動を提案されましたが、構造上そこへ机を持っていくということは難しいと思いますので、改めて巡回等で注視していこうと思っております。

また、紛失しやすい新聞のやり取りについては、利用者カードと交換するようになっておりますが、そちらについても利用者の方から様々な提案等をいただいておりますので、担当者と一緒に検討しているところでございます。

委員 それに関連して、一度成田図書館をご覧になってみたらいかがでしょうか。同じような状況下になっているのではないかと思います。新聞を読むコーナーを今年度から受付のすぐそばに変えています。他の図書館がどのような状態にしているのかご覧になって、スペースの使い方など参考になるものがあるのではないかと思います。

それともう一点、購入図書が年々減っていますね。希望者は結構あると思うのですが、結局予算関係が取れないからということではないかと思うのです。その辺の策というものを考え直したらどうでしょうか。

これについても、以前提案したと思うのですが、図書館が社会へ働きかけて賛同を得ることによって予算を獲得する。前回、具体的に提案したと思うのですが、このことについてどういう検討をされて、どういう風になっているのかをお聞きしたい。

事務局 具体的な方向性等の検討は行っておりません。通常購入以外の方法は、図書館では今のところ考えが来ておりません。

委員 それは図書館内で検討されたのですか。あるいは、はなからやるつもりが無いから、既定路線で行こうというような考え方なのですか。

事務局 本の購入に賛同をいただいたとして、それに進む為の手続きなど様々な課題について検討することが多くなかなか先に進めていない状態です。

委員長 11頁の予約・リクエスト受付件数について、Web予約を見ますと、平成25年度、平成26年度はちょっと減って、平成24年度がピークになっているということは何か図書館で思いあたるふしございますか。

事務局 平成25年度から予約の受付件数の上限を20件から10件にしたのが原因と思われます。

委員 統計資料の中に、去年は一人当たりの貸出冊数の資料があったと思うのですが、今年度は入っていないので、前年度と比べてどうだったのかということをもしわかれば教えていただきたいのですが。

事務局 申し訳ありませんが、次回の図書館協議会でお話しさせていただきます。

委員 共催事業の中の読書感想文講座について、実際やってみてどのような印象だったかということをお聞かせ下さい。

事務局 すごく人気のある事業でした。  
ただし、対象を小学生の低学年から高学年まで行ってしまったため、先生から学年でかなり差があり難しいとのご意見をいただきました。学年を絞ってやった方がいいのではないかとご指摘もいただきましたので、平成27年度は事業の実施を見送り、内容を検討させていただきたい。

委員 12頁の所蔵資料数の状況について、平成25年度に比べて平成26年度は不明資料数が減っているのですが、何か対策をされたのでしょうか。

事務局 対策といたしましては、巡回や、開架に出してしまうともしかしたらという恐れのある資料は、新刊でも書庫へ入れる等の対策は行っております。また、貸出手続きをせずに持って行き、数週間経つと返すということをしている方がいらっしゃるのかもしれませんが。鏡を付けるといった防犯対策は取っております。

委員 8頁、購入の部分ですが、購入される場合に非常に人気度が高いものを選考基準に入れているのか。何か基準があると思うのですが、その年

その年でどのように考慮されて選ばれているのでしょうか。

委員長 まず、一般論からお話し下さいますか。そもそも選書をどのようになさっているのか、存じませんので。

事務局 図書館としては、収書基準をもとに、各分野ごとに偏らないように選定を行うよう心がけております。その中で、市内6館ございますので、各館の状況を踏まえて、それぞれの館で選書計画を立てます。予算にも限りがございますので、各館に予算を分配した中で今年度はどういうところに重点を置くかという収集計画を立てます。また、日々リクエストなど市民からの要望もございますので、計画とリクエストなどを合わせながら、毎週1回、また全館職員では月1回、選書会を行って判断しております。人気のある資料は、どうしても予約件数が多くなりますが、予算に限りがありますので現在は一番多くても1館に1冊、最高6冊くらいまでの蔵書となります。リクエストを受ける際に、利用者へは貸出までの時間がかかる旨のご了承をいただくという対応を行っております。

委員 各館ごとに特色を出すことはされているのでしょうか。

事務局 収集については例えば、印旛図書館では医療の関係、小倉台図書館では、経済について中心的に、大森図書館では行政資料と郷土資料というように、引き続き特色を出していくということで変わっておりません。

ただし、小倉台につきましては利用者の様子を伺いますと、どちらかという年齢層が高めなため、基準はそちらに少し合わせるようにしております。

委員 2頁の事業実績について、小倉台図書館で図書の紹介コーナーというものが通年にわたってあるということですが、一般の方からの紹介などは結構あるのでしょうか。また、一度にどんな形で何冊くらいの紹介がなされているのか、どのくらいの期間その本について掲示されているのかをお伺いしたい。

事務局 平成26年10月末から開始いたしまして、先週末現在で112冊の紹介を行いました。職員も紹介を行っておりますが、一般の方にもご参加いただいております。専用の用紙を用意しております、利用者から本の紹介をしていただき、1か月間は掲示しております。氏名につい

てはライブラリーネームとし匿名にしており、定期的にご参加いただいている方もおります。

お勧めということで掲示を行っておりますが、自分の持ちものではなく、図書館で読んで面白かった本を紹介していただいております。

現在、一方的な紹介ではなく、他の方が見て何かアクションをしていただきたいということを考えております。例えば「紹介されて読んだよ」と、シールを付けていただけないかと、そういうことを担当者が考えておりますが、もしよろしければ委員の皆さまにも何かいい改善策がございましたら、ご提案いただければと思います。

委員 掲示板のような感じで、今ネットの中ではそういうやり取りなどはよくありますが、図書館でそういうコミュニケーションが取れたらいいなという気がいたします。

もうひとつお伺いしたいのが、それによってその本の貸出が増えたという実感はございますか。

事務局 そちらは把握しておりませんが、本と一緒に展示しておくとすぐに貸し出されます。

委員長 基本、それは小倉台図書館にある本のみですか。

事務局 いえ、市内図書館全館分です。市内図書館で借りた本となりますので、小倉台図書館以外にある本につきましては一時所蔵館から取り寄せて展示を行っております。また、展示をするとすぐに貸し出されてしまうため、紹介のみという形になっております。

委員長 平成26年度事業報告についてよろしければ、ご了承いただきたいと思いますと思いますが、よろしいでしょうか。

委員 異議なし

委員長 ありがとうございます。

議 事

2. 平成27年度事業計画について

委員長 次の議題「平成27年度事業計画について」議題にしたいと思いますので、事務局より説明をお願いします。

事務局 平成27年度事業計画について  
【事務局、13頁から15頁に基づき説明】

委員長 事務局から説明がございましたけれども、内容について質問等ございましたらお願いいたします。

委員 システムの更新について、2月の蔵書点検の期間ということで、通常  
の蔵書点検期間中にシステムの更新を行う予定でしょうか、それとも蔵  
書点検期間が、去年より長くなるということでしょうか。

事務局 システムの更新につきましては、蔵書点検を含めて2週間程度の休館  
を予定しております。

委員長 その間はもちろん閉館されて、Webもアクセスできない状態になる  
ということでしょうか。

事務局 そうです。

委員 今年は全館で夏休み図書館探検隊を行われるということで、広報の一  
面にカラーで出たときは「おおっ」と思いましたので、図書館にとっ  
てもいいのではないのかと思いました。

加えて、大人の図書館探検隊も入れていただいて、楽しみにしており  
ます。

委員 同じように、広報いんざいを見て、夏休み子どもたちが楽しみにする  
だろうなと思っております。スタンプラリーが大森図書館で去年好評だ  
ったということで、今年はそうふけ図書館でも行う予定となっております  
が、きっと子どもたちが喜ぶと思いますので、大変だとは思いますが、  
全館で展開していただければなと思っております。

委員長 事業計画に承認していただければ幸いとは思いますが、承認して  
いただけますか。

委員 異議なし

委員長 ありがとうございます。

議 事

### 3. 図書館評価指標について

委員長 それでは、3つ目の議題「図書館評価指標について」を議題としたいと思います。事務局より説明のほどよろしく願いいたします。

事務局 図書館評価指標について

【事務局、印西市立図書館のサービス評価指標に基づき説明】

委員長 ご説明ありがとうございます。この内容に関して質疑等がございましたら、よろしく願いいたします。

委員 3番のレファレンスサービスの充実について、レファレンス事例集の充実を図りますと去年もあったのですが、ここだけ数値目標が入っていません。結局目標だけ掲げてあって毎年達成していないようですので、数値目標を導入してはいかがかと思いました。

事務局 数値目標も大事なのですが、実行することをまず目標としたいと思います。数値目標につきましても職員で検討いたしまして、実行できるようにしたいと思います。

委員 数値目標があると、実行するのではないかと思ひまして。

委員 2番の①印西市関係資料の受入冊数の数値目標について、平成26年度の実績の印西関係資料受入225冊は、郷土資料受入冊数890冊とは別で、合計で1千冊を超えるということでしょうか。そうすると、目標の1千冊というのは数値が下がるのかと。少々妙ではないかという気がいたしますが、いかがでしょうか。

印西関係資料は、その890冊の中には含まれておらず、別のものと考えてよろしいのでしょうか。

事務局 印西関係資料を含むということで、郷土資料受入冊数は含んだ冊数となります。

委員 890冊の中に225冊は含まれているということでしょうか。

事務局 はい。

委員 7番のホームページへのアクセス件数について、平成26年度の実績が653,028件ですが、平成28年度の目標件数60万件で上回っていますよね。それもどうなのでしょう。

事務局 予想以上にアクセス件数が増えたということをご理解いただければと思います。目標値を考え直さなければいけない、検討は行いたいと思っております。

委員 平成26年度の目標に対して実績はどのくらいだったのでしょうか。

事務局 これは平成26、27、28年度で平成28年度を最後とした3年間の目標値ということです。平成25年度に作成しておりますので、先ほど説明いたしましたとおり、予想以上に高い数値が最初から出てきたということです。

委員 途中からの変更というものは無いわけですね、3年間のうちで。

事務局 今現在は最初の年ですので、平成26年度はそうなります。1年実施し職員で再度目標値を検討させていただくということが先ほどの説明になります。

委員 11番の調査研究支援ツールの充実について、ツールを充実するというのは具体的にどういうことを考えていますか。

事務局 目標といたしましては達成方法にあるように、レファレンス事例集をホームページ等を介して利用者に見ていただく、過去にこういう質問があって、こういう回答があって、こういった資料を見ればこういう質問に対して答えが出る、というのを見ていただくというのが、こちらとし



て想定している目標となります。現在はノートに記入した事例自体の蓄積はございますが、その先のホームページ用の整理が進んでおらず、ホームページへの公開に至っていないというのが現状であります。

委員 今年度は達成できるのでしょうか。あるいは達成しようという計画でしょうか。

事務局 選書会等を行って各館の職員も集まっておりますので、是非今年度については、打合せ等を行い前向きに進んでいこうと考えております。

委員長 各館でレファレンスの記録を実施しているとのことですが、どういう形で今記録がなされているのかをご説明をしていただくと、多少は進捗状況が分かるかと思うのですが。

事務局 各館でレファレンスノートへの記録と、回答の難しい質問については県等への質問となりますので、その場合については別に様式がございますので、そちらで記録を取っております。

委員長 それは現在、利用者が見ることができるのですか。

事務局 現在はできません。

委員 一度に大きなものを作ろうとすると、例えば事例集を作ろうとすると、とても大変なことになってしまいますが、こういう質問がありましたという項目だけでもいいので、ホームページなどにこういうことが図書館で出来るんですよとアピールしていただくと、もっと図書館を身近に感じたり、こんなことも図書館にお願いできるんだという気持ちになれるのではないかと。簡単に出来るところからまず一歩進めていただけたらという希望がございます。

委員長 ご検討くださいますか。

事務局 はい。

委員長 その他いかがでしょうか。

図書館評価指標についてよろしいでしょうか。ご承認いただけるでしょうか。

委員 異議なし

委員長 ありがとうございます。図書館評価指標についてご了承いただきました。

以上をもちまして、本日の議事はすべて終了いたしましたので、ご協力に感謝いたします。

議長の任をとかせていただきます。

使用した資料 ・平成27年度第1回印西市立図書館協議会資料  
・印西市立図書館サービス評価指標  
・としょかんつうしん82号・83号  
・広報いんざい7月1日号表紙の写し

平成27年度第1回印西市立図書館協議会の会議録は、事実と相違ないので、当協議会は、これを承認する。

平成27年 7月 3 /日

印西市立図書館協議会

委員 中野 恵美子 